

2018年5月22日

各位

旭化成株式会社

福島県相馬市における「グリーン水素」製造の試験運転を開始

旭化成株式会社（本社：東京都千代田区、社長：小堀 秀毅、以下「当社」）は、福島県相馬市と株式会社 IHI（本社：東京都江東区、社長：満岡 次郎、以下「IHI」）が2018年4月に開所した「そうま IHI グリーンエネルギーセンター※1」内に大型電極を用いたアルカリ水電解設備（最大水電解電力 120kW、水素製造能力：25Nm³/h※2、以下「本設備」）を設置し、IHI と共同で再生可能エネルギーを用いた「グリーン水素」製造の試験運転を開始しましたのでお知らせします。

本設備は、NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）の委託※3を受けて開発した世界最大の電極面積を有する大型アルカリ水電解設備を活用しており、引き続き NEDO の助成を受けて試験が行われます。当社のこれまでの試験研究では、90%を超える高いエネルギー効率と優れた変動出力応答性を有することを確認済みであり、本試験運転では、本設備を実際に太陽光発電設備と連携運転させ、実用性を検証する予定です。試験運転は本年4月から2020年3月まで行われる計画です。

当社は、「クリーンな環境エネルギー社会」の実現を目指し、本設備で得られた知見をもとに、世界最大となる1ユニット10MW級の大型アルカリ水電解システムの実用化に取り組んでまいります。



大型アルカリ水電解試験棟



大型アルカリ水電解設備

※1 IHI と相馬市の共同による、太陽光発電電力の地産地消と地域振興・発展への寄与を目的としたスマートコミュニティ事業の実証施設。

IHI プレスリリース：http://www.ihc.co.jp/ihc/all_news/2018/other/2018-4-05/index.html 参照

※2 ノルマル立方メートル毎時。1時間で製造される標準状態（0°C、1気圧）における水素の体積。

※3 NEDO 「水素利用等先導研究開発事業／低コスト水素製造システムの研究開発／アルカリ水電解水素製造システムの研究開発」

以上

【本件に関する問い合わせ先】

広報室 TEL 03-3296-3008(関塚、片山、阿曾村)

Email : ak-houdou@om.asahi-kasei.co.jp